

2025 年に向けた具体的対応方針（勝浦病院）

基本情報

医療機関名	国民健康保険勝浦病院
開設主体	勝浦町
所在地	勝浦町大字棚野字竹国 1 3 - 2
許可病床数（稼働病床数）	60 床（60 床）
病床種別（病床機能別）	一般病床（急性期）
診療科目	内科・外科・整形外科・小児科・リハビリテーション科

① 2025 年における構想区域において担うべき医療機関としての役割

南部地域では、公的病院の統廃合ですでに病床が削減されており、当院においても、改築事業を行うにあたり病床の削減を計画しています。

当院がある勝浦郡内には入院機能を持つ医療機関は当院しかなく、一般急性期から回復期、慢性期の幅広い病床機能に対応するとともに、在宅医療に関係する『退院支援』、『急変時の対応』、『看取り』等の機能について推進する必要があると考えます。また、訪問看護や訪問リハといった訪問系サービスの充実にも努める必要があると考えています。

当院は南部圏域では、小松島市の徳島赤十字病院を始めとする急性期医療機関や郡内の上勝診療所、また介護老人福祉施設など介護施設との連携を進めていきます。

厚生労働省が令和元年 9 月 26 日に公表された再編すべき医療機関に当院が載っていますが、へき地医療拠点病院として上勝診療所へ医師の派遣もしており、A の項目について、厚生労働省は「平成 30 年 1 月 1 日現在」の該当の有無で分析していますが、勝浦病院は「平成 31 年 4 月 1 日」に指定されているため、現在は再編する病院にあたりません。また B 項目の類似かつ近接病院として阿南共栄病院が近接病院となっていますが、こちらの病院も現存していません。このため、当院は厚生労働省が公表した再編すべき医療機関には該当しないと考えられます。

当院は今後もへき地医療拠点病院として上勝診療所の支援を続けていきます。徳島赤十字病院を始めとする急性期医療機関や郡内の上勝診療所、また介護老人福祉施設など介護施設との連携を強化し、地域包括ケアの中心的役割を果たしていきます。

② 2025年に持つべき医療機能ごとの病床数

国民健康保険勝浦病院改築基本構想から新病院の必要病床数として急性期病床 24.9 床、回復期病床 25.7 床、今後の入院患者数の減少を見込み、現在 50 床で計画を進めております。

病床種別（病床機能）については、一病棟であるため一般病床（急性期）50 床としておりますが、実際の受け入れ患者予想につきましては急性期 25 床程度・回復期 25 床程度（現在の地域包括ケア病床 8 床を含む）と予想しています。